

せいらんそう

社会福祉法人
 会誌
 芳香会報
 創刊準備号
 2006年10月発行



平成17年11月9日芳香会設立35周年記念式典を古河市のとねみどり館で行いました。
 写真は、記念式典会場に展示したご利用者の作品の一部です。

もくじ

CONTENTS

会報発刊によせて・・・2	ボランティア・・・4
What is 芳香会?・・・2	地域の福祉を お手伝い致します
次世代育成	ホームヘルパー養成研修 講師派遣中・・・5
触れ合いの中の看護・・・3	あんしんふくし相談会・・・5
ゲストティーチャ・・・3	芳香会スケジュール・・・6
次世代への期待	編集後記・・・6
職場体験学習・・・4	
世代間交流・・・4	



芳香会会報「せいらんそう」

創刊準備号の発刊によせて

社会福祉法人 法人本部事務局

事務局長 宇留野 光子

当法人は結城市内で福祉事業を開始し、三十六年目をむかえることができました。

その間多くの方々の協力をいただき、現在では、乳幼児・障害児者・高齢者を対象として九つの事業所を中心に福祉サービスを展開しております。



そして、その各事業は地域貢献を理念とし、より良い福祉サービスを提供することをモットーに運営しております。

特に、ご利用者のみな様には様々なサービス提供を行ない、そして満足いただくことが、全ての事業所の役割でもあります。

今回芳香会の会報誌を発刊することとなりましたのは、多くの方々に私どもの事業内容や取り組みを知っていただき、より一層サービスの充実に努めることを目的と致しました。今回より「せいらんそう」は、年度三回（六月・十月・二月）発刊致します。この「せいらんそう」を通じて新しい出会いが生まれますことを望んでおります。

なお、今後もより多くの方々のご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

それではここで現在の当法人の事業内容の一部をご紹介します。

芳香会は結城市と古河市を中心に事業を展開しています。

【高齢者関連施設】

結城市〓 青嵐荘養護老人ホーム（入所五〇人）

青嵐荘特別養護老人ホーム

（入所一〇〇人+短期入所一〇〇人）

結城デイサービスセンター（二十三人）

グループホーム穂の香（入所九人）

古河市〓 青嵐荘ケア・アシスタンス（入所七〇人）

デイケア（十五人）

【障害児・者施設】

古河市〓 青嵐荘療護園（身体障害者の方五〇人）

芳香会病院青嵐荘療育園

（身体及び知的障害者の方五〇人）

青嵐荘路のとう舎

（知的障害者の方五〇人+通所二〇人）

グループホームふぎのとう（入所四人）

青嵐荘つくし園

（身体障害者の方五〇人+通所四人）

重症心身障害児通園事業（五人）

【乳・幼児施設】

古河市〓 牛ヶ谷保育園（六〇人）

結城市〓 たま保育園（九〇人）

【相談事業等】

古河市〓 地域療育等支援事業

居宅介護支援事業

結城市〓 居宅介護支援事業

【訪問事業等】

古河市〓 訪問介護事業、訪問看護事業

配食サービス事業

結城市〓 訪問介護事業、配食サービス事業

利用されるみな様のニーズに応じたサービス提供を実施しています。



What is 芳香会？

其の一 「芳香会」の意味

社会に恵まれない人々に芳ばしい香（恵）を与えようという意味がこめられています。

其の二 シンボルマーク



当法人のシンボルマークは芳香会創立十五周年を記念して作成されました。

このシンボルマークは「母と子の絆」のような想いを基につくられています。母と子がどちらからともなく話しかけているような、とても温かみを感じられるマークになっております。また、六本の線はシンボルマーク作成当時に当法人が設置経営していた施設の数を表しています。

其の三 「青嵐荘」の由来

「青嵐荘」とは、周囲の青々とした森に囲まれた高台にある「養護老人ホーム」の風景から名づけられました。

その風景とは、六月から七月頃に周囲の稲田が青々として一面が広大な緑一色となり、雨風がその上を大海原のごとく渡っていきます。その雨風がホームあたる壮大な景色です。また、「如何なることにもくじけずに聳え立つ」という意味でもあります。

次世代育成

目の高さをかえてみませんか？

触れ合いの中の看護

みなさん、「看護の日」を

ご存知ですか？

看護の心、ケアの心、助け合いの心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるようにと市民・有識者による「看護の日の制定を願う会」の運動がきっかけとなり、近代看護を築いたナイチンゲールの誕生日の五月十二日を「看護の日」と制定し、十二日を含む日曜から土曜までの一週間を「看護週間」としています。

そこで看護週間である五月十二日(土)、芳香



会病院青嵐荘療育園において近隣の高校生を対象とした看護の日イベントを開催しました。

小雨が降る中、近隣の高等学校五校より一年生から三年生まで三十人の生徒さんが参加しました。

イベントでは、救急法の見学と体験、施設



で提供しているソフト食・ゼリー食の試食、車いすの乗車体験や体位交換方法などさまざまな体験をしていただきました。みなさん、初めは慣れない雰囲気にし戸惑っているような様子でしたが、体験を通じて職員とコミュニケーションを取るにつれて、徐々に笑顔が見られるようになりました。



の心」を生徒のみなさんにお伝えしていければと考えています。

ゲストティーチャ

(三和東中学校)

青嵐荘路のとつ舎と青嵐荘つくし園の相談支援員の二人が三和東中学校のゲストティーチャーとして招かれました。

当法人で初めての試みであった為、至らぬ点があったと思えますが、イベントのアンケートの中で、「ご利用者と触れ合えてよかった」、「進路の参考になった」など、嬉しいご意見をいただくことができました。

今回の経験を役立たせ、これから「看護の日」を生徒のみなさんにお伝えしていければと考えています。

今回の訪問授業は、

「古河市の福祉を知る」をテーマとして、福祉についてお話をしてほしいという三和東中学校からのご要望を受けて実現した試みです。

訪問授業は、一年生一〇三人を対象に六月三十日(金)・七月五日(水)の二回行ないました。



授業では、知的障害、身体障害の理解、施設でのご利用者の生活、施設で働いている職員の仕事内容などお話しさせていただきました。



言葉だけで説明するよりも実際に見ていただいたほうが理解が得られるので、ご利用者や職員を撮影したDVDや画像を観ながら説明していくという方法をとりました。

生徒さん一人一人の表情がよく分かる距離で授業を行えたので、生徒さんの反応を見ながら進行することができ、とてもやりやすかったです。また、中学生が福祉についてどの程度知っているのか、どのようなことに興味があるのか知ることができたので、当法人にとって良い経験となりました。

今回は、十二月に総和北中学校へお伺いします。

次世代への期待

職場体験学習

(結城南中学校)

職場体験学習は地域の職場に実際に足を運んで働くことの意義や生きていくことの尊さを学ぶことが目的とされています。また、体験学習を行った生徒さんが主体的に進路を考え、選択し、決定する意思や意欲を培うことのできる貴重な教育活動となっております。当法人でも近隣の小・中学校から学習の依頼があり職場体験学習の受け入れをしています。



今回は「青嵐荘特別養護老人ホーム」で職場体験学習を行った生徒さんに感想を聞いてみました。すると、「将来、介護の仕事に就きたいと思っていたのでとても勉強になりましたし、楽しかったです」と初々しくも固い決意を秘めた返答がありました。素敵な介護専門職になったださいね!!!応援しています。

なお当法人ではご紹介した職場体験学習をはじめ、社会福祉の専門職を目指す学生(社会福



社士・介護福祉士)、看護師・ホームヘルパーの資格取得、教員免許取得の介護等体験など年間約二〇〇人の実習受け入れをしています。

ふれあいと心を育む

世代間交流

「世代間交流事業」とは、地域の保育所の子どもたちが老人福祉施設などへ訪問したり、施設や地域のお年よりを招待して演劇、季節行事、手作り玩具製作を通じて世代間の交流を図り、ふれあいや思いやりのある心を育むことを目的としています。当法人でも結城市



田間の「たま保育園」と古河市西牛谷の「牛ヶ谷保育園」で世代間交流事業をしています。交流の内容は芋植え・芋掘り・夏祭り・運動

会・みかん狩りなど様々な活動が行われています。

明るく、元気な子どもたちの笑い声はお年よりにほほえみをさそい、またお年よりの経験や知恵が子どもたちにも伝わって、相互にとっても大切な時間となっているようです。



ボランティア

(総和高等学校)

六月十七日(土)、地域交流ホームにおいて、総和高等学校吹奏楽部の生徒さん二十四人が、ご利用者のために演奏会を開いてくださいました。

当日、古河市上大野にある高齢者、障害児者施設の三施設から約二〇〇人ものご利用者ご家族が集まりました。みなさん演奏会をとても楽しみにしていて、早くから地域交流ホームに集まり、開演をいまかいまかと待っている様子でした。

十時三十分、いよいよ演奏の始まりです。曲目は、ディズニーフアンティリウージョ 童謡メドレー 時代劇メドレー マツケンサンバと幅広い年齢層が楽しむことのできる曲を選定していただきました。



みなさん、演奏にあわせリズムを取ったり、曲を口ずさんだりと楽しんでいました。

また、吹奏楽部のみなさんが手作りのプログラムをご用意いただきなど演奏会にあたり、いろいろとご配慮してくださいました。心から感謝致します。



地域の福祉をお手伝い致します

ホームヘルパー養成研修 講師派遣中！

ホームヘルパーは、在宅で生活を続けていくうえでさまざまな困難を抱えている高齢者や障害児者のご自宅を訪問し、日常生活上の家事や介護のサービスを提供し、自立を



支援する援助者のことをいいます。ホームヘルパーとして働くには自治体や各種団体の主催するホームヘルパー養成研修（一級課程から三級課程まであります）を受講し修了しなければなりません。

このホームヘルパー養成研修は介護保険制度の実施以降、大きな注目を集めました。当法人では十年ほど前から近隣の自治体等の要請を受け講師を派遣しております。講師派遣の要請をいただいた自治体・団体は結城市、古河市、つくば市、旧下妻市、旧総和町、旧境町、古河・総和広域シルバー人材センター、結城市シルバー人材センターなどがあげられます。



平成十八年度の講師派遣者数は十二人、延べ派遣回数は二十四回を予定しており、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専

門員、作業療法士などの有資格者が講師を務めます。

また、講師派遣以外にも当法人の運営する青嵐荘特別養護老人ホームでの介護実習や結城デイサービスセンター「青嵐荘」での在宅サービス見学実習などの受け入れもしております。なお、「ホームヘルパーの資格を取得したい」と希望される方はお住まいの市町村役場または社会福祉協議会にお問い合わせください。

お気軽にお越しください あんしんふくし相談会

当法人では福祉に関する様々な相談や要望におこたえできるよう地域に密着した身近な



シヨッピングセンターイトーヨーカドー古河店の協力により出張相談会を開催しています（無料）。相談会では「どのような福祉サービスがあるのか分からない」「福祉制度や介護のことについてどこに相談すればいいのか分からない」「日々の介護のことで悩みがあるが、身近に相談する相手がいない」などの質問やお悩みを付けております。イトーヨーカドーご来店の際はお気軽にお立ち寄りください。

なお、個別のご相談とは別に地域のみな様との気軽な交流を目的として年に数回程度、介護予防・栄養・健康などのテーマで看護師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士等の専門職が担当し、ミニイベントを開催しています。

あんしんふくし相談会のご案内

〔実施場所〕

イトーヨーカドー古河店一階
「あんしんサポートシヨップ」
古河市雷電町一の一十八

〔実施日〕

月二回
・第二水曜日
・第四日曜日

〔実施時間〕

午後一時から午後四時まで

〔実施内容〕

社会福祉全般に関するご相談に応じております。介護保険制度や障害者自立支援法などの制度の説明、利用手続きなど。

〔相談費用〕

無料です。

〔担当者〕

当法人の相談員2人
（社会福祉士・介護支援専門員など）



あんしんふくし相談会に関するお問い合わせは、芳香会法人事務局（〇二八〇 九七 一〇二七）へどうぞ！



障害者福祉セミナー
「みんなが暮らしやすい社会を」

《目的》 障害児・者を取りまく法律や社会しくみが変わっていく中で、地域の福祉サービスのあり方、暮らしやすい環境づくりについてみんなで考える機会にする。

《日程》 十月二十八日(土)

午前十時～午後二時五十分

《会場》 古河市福祉の森会館 視聴覚室

《参加費》 五〇〇円 昼食含む

【講師紹介】

講演 「地域で生活することを再考する」

三浦 剛(みつら つよし)氏



・会津大学短期大学部
社会福祉学科 教授
・NPO法人「スペース」空代表者
・社会福祉法人芳香会評議員

講演 「エンパワメントを支える地域力」

安梅 勅江(あんめ とさえ)氏



・筑波大学大学院人間総合科学
研究科教授
《主要書籍》
「エンパワメントのケア科学」
「コミュニティ・エンパワメント
の技法」など

障害者福祉セミナーのお問い合わせ、
参加申込は、下記連絡先へ

芸術祭開催のご案内

秋といえば、スポーツ、食欲、そしてなんと言っても「芸術の秋」ですね。

今年度で三回目となる芳香会芸術祭を開催致します。

芸術祭では、ご利用者の芸術作品(絵画・書道など)の展示、実演などを実施致します。

一年に一度の行事ですので、この機会にぜひお越しください。



開催期間・場所

《期間》 十一月十八日(土)～

十一月二十日(月)

《会場》 古河市福祉の森会館

(古河市新久田二七一一)

《期間》 十一月二十四日(金)～

十一月二十六日(日)

《会場》 結城市民情報センター

(結城市結城七四六七一五)

会場によって展示作品が異なります。

芸術祭についてのお問い合わせは、
下記連絡先へ

編集後記

近年福祉制度は大きく変化し、全ての制度が複雑で分かりにくくなっています。福祉サービスを提供する私達も内容を十分に理解し、利用される皆様に安心していただけるよう今後も鋭意努力する所存です。そして「人とかかわりや地域力」を豊かにするのも私たち個々の力に委ねられ、今後に課せられた役割ではないかと考えます。(光)

会報の作成を通じ、当法人の活動が地域の方々の支えにより成り立っていることを改めて実感しました。今後も皆様方にご指導・ご鞭撻をいただきながら会報の紙面を充実させていきたいと思えます。(智)

稚拙な内容ですが、会報を発行することができました。さまざまな情報を提供し微力ながらみな様のお役に立てるよう努めてまいります。会報についてご意見・ご感想をいただければ幸いです。(恵)

社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027(代) FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp

